

金沢市立内川小学校  
平成27年度 学力向上の取り組み（2学期）

1 学力調査（全国学力・学習状況調査（質問紙含む）、県基礎学力調査、県「評価問題」から見える自校の課題について（2の「重点的に行う取組」に関わる課題は太字ゴシック）

<p>(1) 平成27年度全国学力・学習状況調査</p> <p>※「平成27年度全国学力・学習状況調査の学力分析シート」(H27.7.1付発教学第314号)を反映させること</p> <p>国語：述語が、形容詞や名詞になったときの理解が十分ではない。  <b>文章の要旨をとらえて、自分の考えを書く力が不足している。</b></p> <p>算数：基準量、比較量、割合の関係を把握することに課題がある。          :角度の大きさや辺の長さ、問題文の答えの値になる理由を言葉と数、記号を用いて記述する力が不足している。</p> <p>理科：月の方位や動きについての理解があいまいである。</p> <p>(2) 平成27年度県基礎学力調査</p> <p>国語：文章に書かれていることを正確に理解することが十分ではない。  <b>漢字を読んだり書いたりする力が不足している。</b></p> <p>算数：文章問題の読み取りに課題がある。</p> <p>社会：資料のグラフや表の読み取りに課題がある。</p>
--

2 自校の課題に対する改善策と検証について（「重点的に行う取組」は太字ゴシック）

	日々の授業で行う取組	授業以外で行う取組
重点的に行う取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>学習のルールについての共通指導。</b></li> <li>・ <b>全校共通のノート指導。</b></li> <li>・ <b>「説明文」の単元の最後に「書く」活動を設定。</b></li> <li>・ <b>「書く」活動を行う時に使用する学年別の観点表を作成し、授業者の評価をしやすくすることで、学習の成果と課題の検証を繰り返すことで、「書く」力の向上を図る。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>毎週金曜日6限に補充教室を行う。</b></li> <li>・ <b>金曜日に朝学習で、単元別算数プリントに取り組む。担任がすぐに採点することで1人1人の理解力を把握し、きめ細やかに指導。</b></li> <li>・ <b>月曜日の朝学習で、漢字小テストに取り組む。</b></li> </ul>
検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のルール取組週間を設け、結果を掲示する。</li> <li>・ 良いノートを学級掲示する。また、小部会で各学級のノートを交流する。</li> <li>・ 授業での作文を学級掲示し、教師間でお互いに見合う時間を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補充教室で、理解が不十分な児童を指導する。</li> </ul>
検証の規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のルール取組週間で肯定的な評価が7割以上である。</li> <li>・ 国語科で学習した「書く」力が他の教科の「書く」活動に活かされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学期末のまとめのテストで8割以上の正答率がある。</li> </ul>

3 年間計画について（1学期の計画を見直し、必要に応じて加除修正すること）

	授業で共通して取り組むこと	授業以外で共通して取り組むこと
4月	<b>【日々の授業での取組】</b> ・学習のルール取組週間の設定（毎月末）	<b>【学力調査採点】</b> ・昨年度の学力調査、評価問題の結果と取組事項の確認と実践（～7月） <b>【朝学習・補充教室】</b> ・単元別算数プリントの取組開始 ・補充教室の開始（毎週金曜日6限）
5月	<b>【検証】</b> ・ノート指導チェック ・説明文単元での「書く」学習の実施	<b>【学力調査分析】</b> ・県、国の調査を全職員で解答
6月	・単元末テスト等で定着状況の把握	
7月	・夏期休業中の家庭学習についての確認	<b>【学力調査の結果分析】</b> ・県：学力調査の結果分析および各教科での重点的な取組事項の確認 ・家庭学習の取組時間についての交流
8月		・国：学力調査の結果分析および各教科での重点的な取組事項の確認
9月	<b>【日々の授業での取組】</b> ・国、県の学力の調査事後指導（答え合わせ、問題の解説） ・学力調査で課題になった点や単元を具体策の実施により授業改善。	<b>【朝学習】</b> ・全校一斉の漢字小テストの取り組み開始（毎週月曜日） <b>【学力調査の結果分析】</b> ・県、国の学力調査の結果分析及び各教科の重点的な取組事項の小中間で交流
10月	・説明文単元での「書く」学習の実施	・前期の取組の検証と後期の取組の設定
11月	・評価問題の事前指導 ・評価問題に向けての補充教室（～12月）	
12月	・単元末テスト等で定着状況の把握 ・評価問題の実施	<b>【評価問題分析】</b> ・全職員で評価問題（5年生）を解き、傾向を把握
1月	<b>【検証】</b> ・評価問題の事後指導（答え合わせ、問題の解説） ・評価問題の結果をうけての補充教室（～3月）	・評価問題の結果を分析し共通理解
2月	・評価問題で課題となった問題に取り組む。	・後期取組の検証と来年度に向けての課題の設定
3月	<b>【検証】</b> ・単元末テスト等で定着状況の把握	